

第1分科会 ハイフレックス型校内研修の在り方に関する研究

大阪府教育センター 教育企画部 企画室

大阪府教育センターは、文部科学省の「教員研修の高度化に資するモデル開発事業」を受託し、校内研修の活性化支援、ICTによる研修の高度化、動画コンテンツの作成及びその普及に取り組んでいます。

参加者のアンケートより

- ・FTR (Future Training Room) を体験し、これからの研修の形が新しくなると思いました。大画面に映し出された授業風景や、同時に提示された学習指導案などを見ながら、隣の人と気付いたことを協議することで、より良い研究授業や研究協議につながると感じました。
- ・多様なICT機器を用いて、同じ授業を様々な視点で参観できる校内研修の実践発表を聴き、今後の研修の在り方や運営方法を考える上で参考になりました。また、参加者が状況に応じて参加形態を選択できることで、研修への積極的な参加につながると思いました。



報告

新しい研修室「FTR」

FTR (Future Training Room) は、遠隔地の研究授業や研究協議に、双方向、リアルタイムで参加できる研修室を整備しました。

ハイフレックス型校内研修の報告

新たな型の校内研修 (ハイフレックス型校内研修) を実践した学校の事例を報告し、FTRを活用した研究協議や配信機器の操作を体験していただきました。

研修用VRコンテンツ、メタバースの研究

作成した研修用VRコンテンツを視聴し、メタバース空間の教育への応用について考えました。

講演

「校内研修のハイフレックス的展開の可能性」

講師: 大阪教育大学 教授 木原 俊行
大阪教育大学 准教授 尾崎 拓郎

ハイフレックス型校内研修の実施に際して、児童生徒の活動を撮影する際の工夫や研修環境の整備等、ICT機器関係からのご助言や、授業や校内研修に対するご提案など、これからの研修の在り方に関するご講演をしていただきました。